

# 宮本たかしを育てる会 NEWS

宮本たかしを  
育てる会ニュース  
2008夏号

宮本たかしを育てる会

〒915-0841 福井県越前市文京二丁目15-5

電話  
ファックス 0778-22-6633



Vol.03

## 暑中お見舞い申し上げます



暑い日が続いていますが、皆様お変わりありませんでしょうか。

私は新しい年度に入り1回目の6月定例議会を終え、ほっと一息ついているところでございます。丸1年というワンサイクルを過ごし、分かってきたこともたくさんありますが、一方、未だに分からない部分も多いのも事実でございます。北陸新幹線の敦賀までの延伸や福武線存続の問題、原子力の安全・安心に関わる事項や、原油高・原料高による不景気対策など県政の課題は山積しています。

日々勉強の毎日ですが、謙虚な姿勢で精進してまいりたいと気持ちを新たにしておりますので引き続きご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

### トピックス

ここでは平成20年、年始から現在までの活動トピックスを紹介します。

#### ☆2月21日：政務調査

2月21日、新潟県三条市の「(財)新潟県県央地場産産業振興センター」と加茂市の「新潟県農業総合研究所食品研究センター」へ産業支援と農産物の商品化支援の状況をヒアリングに伺いました。一人でアポを取っての活動でしたので残念ながら写真はないのですが、非常に有意義なヒアリングができたと考えています。

特に米所として有名な新潟県において、現在、米の消費量激減と価格低下や減反政策という向かい風の環境の中、米の生産をどう維持していくかという課題に対して米菓(せんべい、あられなど)や米粉を原料にしたパン、麺の商品開発に努力されている食品研究センターの活動は福井県においても大変参考になることがたくさん伺えました。

同センターの食品加工に関する特許保有特許は32件、一方、福井県食品加工研究所の保有件数は5件と力の差を再認識する形になった視察でした。。。残念です。

#### ☆3月31日：一休会視察



3月31日、前号でもお話ししました会派一年生の「一休会」で横浜市港北区の国土交通省京浜河川事務所新横浜出張所への視察をしました。

私たちが訪ねた多目的遊水地は、急激な増水時に一時的に洪水を貯留する「洪水調節機能」を有する土地です。その広さは84ヘクタールと広大で、なんと遊水地内には「日産スタジアム」をはじめ、横浜市の総合保健医療センターや障害者スポーツ文化センターがあるほどです。ちなみに総事業費は約1700億円との事でした。



#### ☆日本原子力発電株式会社視察

6月3日、日本原電を訪問、敦賀発電所1・2号機の運転状況・「耐震安全性評価結果(中間報告)」・「3・4号機準備工事の進捗状況」についての説明を受けました。敦賀3、4号機はそれぞれ出力が154万kwと国内最大級です。それだけにその安全対策についてはしっかりとチェックしていかなければとの思いを新たにいたしました。



## <委員会について-その1>

ここでは新聞などでよく報道され、ドラマ「CHANGE」でもキムタクが話していた「委員会」について説明したいと思います。委員会とは本会議に提案された議案などを、専門的に能率よく審査、調査するために設置されており本県には4つの常任委員会と4つの特別委員会、そして予算特別委員会、決算特別委員会が設置されています。委員会で付託された案件は審議採決されたのち再度、本会議に上程され最終的な議会の議決となります。

常任委員会はその名の通り、年によって設置、非設置ということではなく、常に存在し、議長の付託により議案・予算の審議を行っています。

4つの常任委員会とは。。

**総務教育常任委員会:** 総務部、総合政策部、会計局、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員および人事委員会の所管に属する事項および他委員会の所管に属しない事項について審査します。

**産業常任委員会:** 産業労働部、農林水産部、企業局および労働委員会の所管に属する事項について審査します。平成19年度に制定された「地産地消費推進条例」はこの委員会にて審議されました。昨年、私が所属した委員会です。

**厚生常任委員会:** 安全環境部、健康福祉部の所管に属する事項について審査します。地球温暖化防止についてはこの委員会が所管しています

**土木警察常任委員会:** 土木部および公安委員会の所管に属する事項について審査します。平成20年度、私はこの委員会に属しています

特別委員会とはその時々的重要な課題についてより専門的により詳細に審議を行うために設置されます。ですから1年毎にその設置が検討され初期の目標が達成された場合には解散いたします。内容の説明については次号にて致したいと思います。



### 議会活動

3月、6月議会において一般質問等を行ったテーマについて私なりの解説をしたいと思います。なお、6月議会についてはFBCにおいてテレビ放映されました。

#### ☆産業支援策について



原油高やその影響による不景気に対して、現状認識のみならず、今後の見通しについても県の認識は甘いという印象をずっと持っていました。そこで「飛行機全体が日本の経済状況であるならば、福井県の経済はその後輪のようである。離陸して上昇するときは最後に地を離れるが、下降して着陸するときには一番早く地に着く」という表現にて景気対策、企業支援のあり方を質しました。

先に書いた「新潟県県央地場産産業振興センター」と本県「産業支援センター」を比較し、地元企業の県外への売り込みの仕方、窓口への県外からの相談件数、アドバイザーの任期等から福井県における県外への売り込みはまだまだ改善の

余地があるとの認識の下、知事にその所見を伺いました。知事からは「具体的な提言を各種頂いたので、ふくい産業支援センターと調整をして、改善すべき点は改善して進めていきたい」との答弁を得ました。

#### ☆環境政策について

ISO14001の主任審査員として、県の環境に関する政策全般について質問を致しました。特に環境マネジメントシステムが有効に機能しているかどうかは私の最も気になるところ。残念ながら理事者がおっしゃる所の「ISOの精神や魂」は生きていないとの認識を持っています。いくつかの問題点の指摘に対し現在、策定作業中の「環境基本計画」においてその改善をする旨の答弁を得ました。

#### ☆子どもの見守りと不審者対策について

皆さんもご存じの通り、非常に残念なことですが越前市や県内各所において、子どもに対する声かけや公然わいせつ等の変質行為の案件は増えています。これらの検挙は被害者が未成熟であり、目撃証言が得にくいことや犯罪性の確定などで非常に難しい案件ではありますが、大きな犯罪の予兆として現れるという特徴もあります。これらに対する県警本部の対応について問い質しました。

また、見守りを行う地域の方、または保護者にとって有力な不審者についての情報源になるのが学校関連でスポーツ・保健課から発信されるメールマガジンと県警が発信するリユースネットワークです。しかしながらこれらそれぞれの情報は同一ではなく一方のみで提供されている情報が多数見られました。情報の受け手としてはどの情報源からであっても同じ情報ができるだけ瞬時に入手できることを期待しているとの認識からこれらを一本化して発信できないかの提案を致しました。

この情報の一本化についてはスポーツ・保健課(教育庁)と県警本部にて検討するとの答弁を受けましたが、先日、県警のリユースネットワークに情報を一本化し、既存の県のメールマガジンを受信している方へはリユースネットワークの受信へ移行していただくよう決定がなされました。

